

第3次明石市農業基本計画策定にかかる市民アンケート調査結果

【調査対象者】18歳以上の市民1,000名（無作為抽出による）

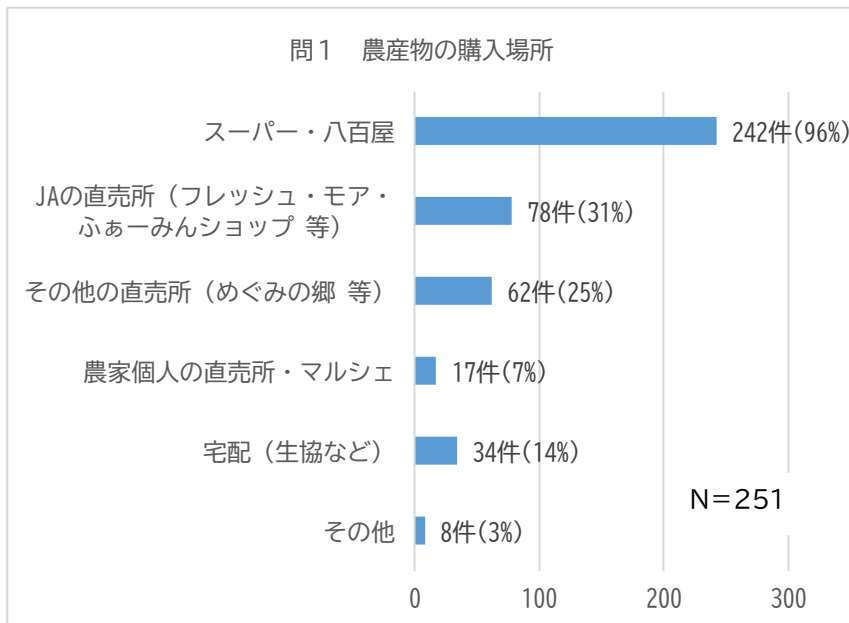
【調査期間】令和6年7月3日から7月31日

【回収率】25.1%（251件回収）

■地場農産物の購入、消費についてお聞きします

Q1 あなたは日頃、農産物をどこで購入しますか。（いくつでも回答可）

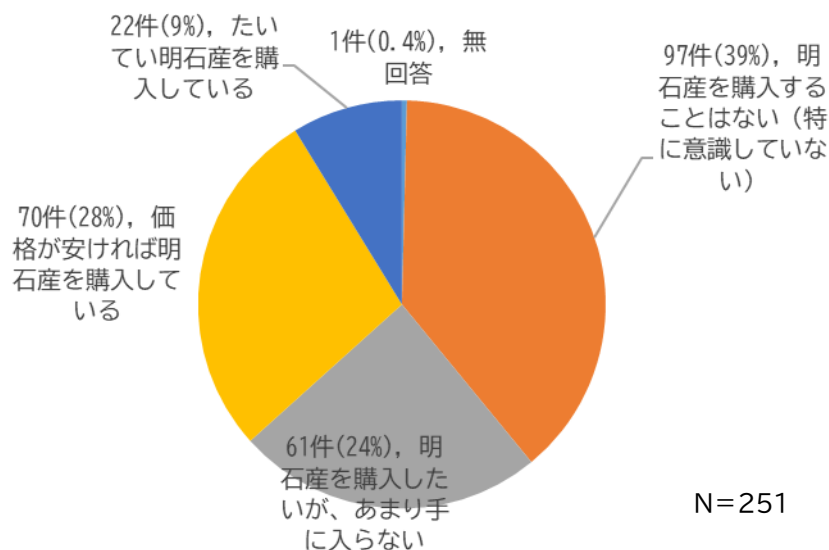
	項目	件数	%
1	スーパー・八百屋	242	96%
2	JAの直売所（フレッシュ・モア・ふぁーみんショップ等）	78	31%
3	その他の直売所（めぐみの郷等）	62	25%
4	農家個人の直売所・マルシェ	17	7%
5	宅配（生協など）	34	14%
6	その他（家庭菜園、親戚や知人からもらう等）	8	3%



Q2 あなたは日頃、明石市内で作られた農産物を購入していますか。（1つだけ回答可）

	項目	件数	%
1	たいてい明石産を購入している	22	9%
2	価格が安ければ明石産を購入している	70	28%
3	明石産を購入したいが、あまり手に入らない	61	24%
4	明石産を購入することはない（特に意識していない）	97	39%
99	無回答	1	0.4%

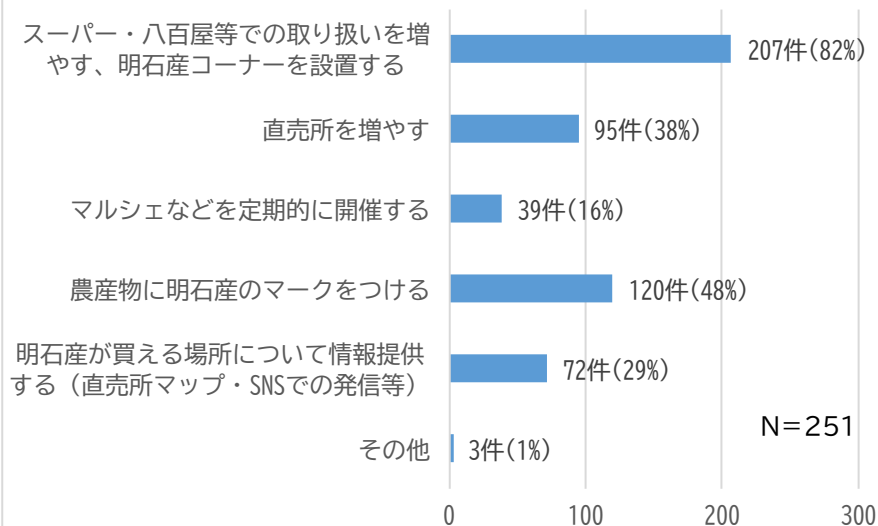
問2 明石市内で作られた農産物を購入しているか



Q3 明石市内で作られた農産物を手に入れやすくするために、どんなことが必要ですか。(いくつでも回答可)

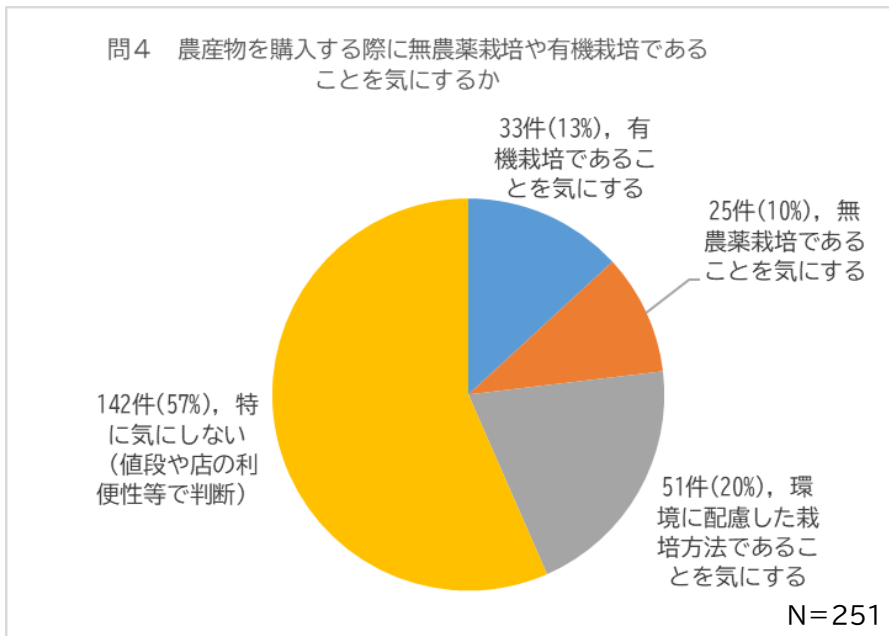
項目	件数	%
1 スーパー・八百屋等での取り扱いを増やす、明石産コーナーを設置する	207	82%
2 直売所を増やす	95	38%
3 マルシェなどを定期的で開催する	39	16%
4 農産物に明石産のマークをつける	120	48%
5 明石産が買える場所について情報提供する(直売所マップ・SNSでの発信等)	72	29%
6 その他(道の駅をつくる、価格を下げる等)	3	1%

問3 明石市産の農産物を手に入れやすくするために必要なこと



Q4 あなたは農産物を買うとき、無農薬栽培や有機栽培であることを気にしますか。
(1つだけ回答可)

	項目	件数	%
1	有機栽培であることを気にする	33	13%
2	無農薬栽培であることを気にする	25	10%
3	環境に配慮した栽培方法であることを気にする	51	20%
4	特に気にしない(値段や店の利便性等で判断)	142	57%

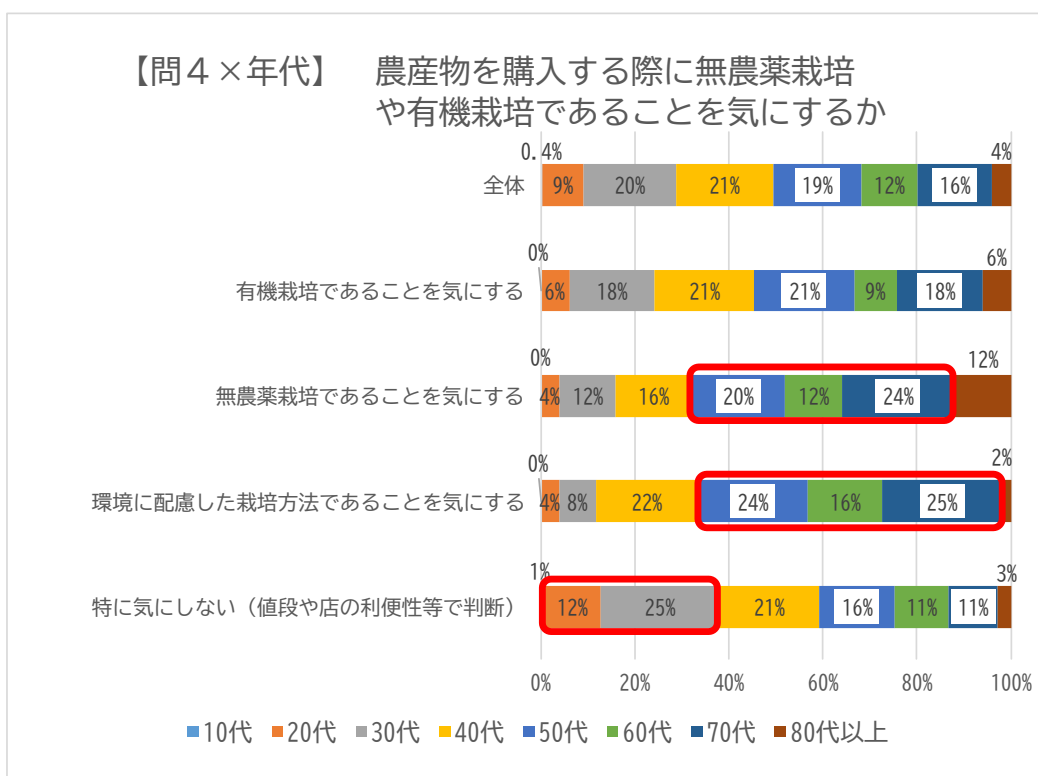


【有機栽培】
植物性由来や動物性由来の有機肥料を主として栽培し、特定の農薬や化学肥料などの無機質肥料を使わない農法。

【無農薬栽培】
生産期間中に全く農薬を使用しない栽培方法。

【環境に配慮した栽培方法】
通常よりも栽培時の農薬や化学肥料を減らして作物を育てる、有機肥料を使用する等、環境に配慮した栽培方法。

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
有機栽培であることを気にする	0	2	6	7	7	3	6	2	33
無農薬栽培であることを気にする	0	1	3	4	5	3	6	3	25
環境に配慮した栽培方法であることを気にする	0	2	4	11	12	8	13	1	51
特に気にしない(値段や店の利便性等で判断)	1	17	36	30	23	16	15	4	142

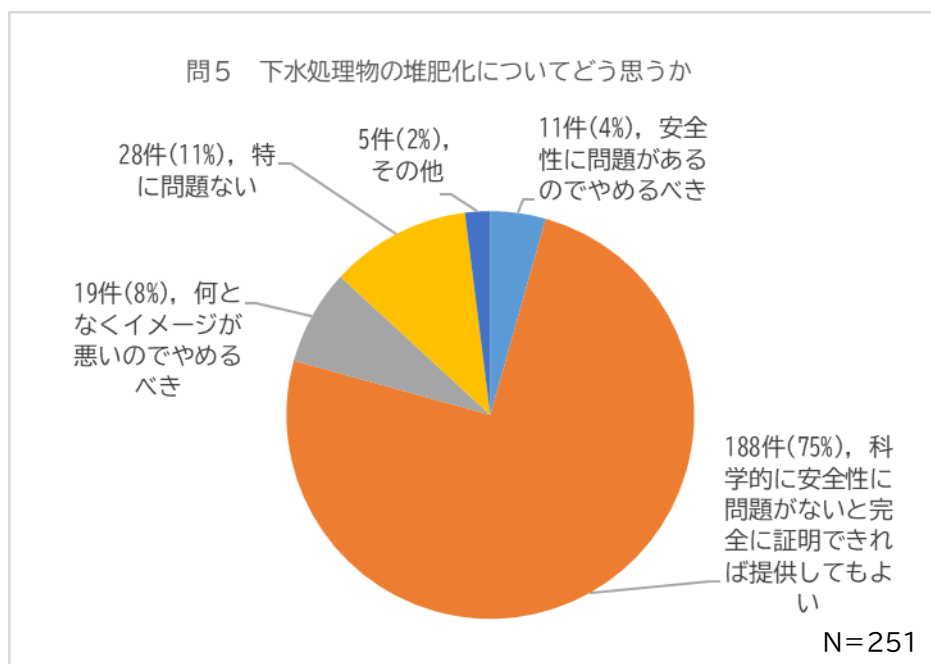


Q5 下水処理物を堆肥化し、農家や家庭菜園に提供することについてどう思いますか。
(1つだけ回答可)

	項目	件数	%
1	安全性に問題があるのでやめるべき	11	4%
2	科学的に安全性に問題がないと完全に証明できれば提供してもよい	188	75%
3	何となくイメージが悪いのでやめるべき	19	8%
4	特に問題ない	28	11%
5	その他	5	2%

下水処理物の堆肥化とは？

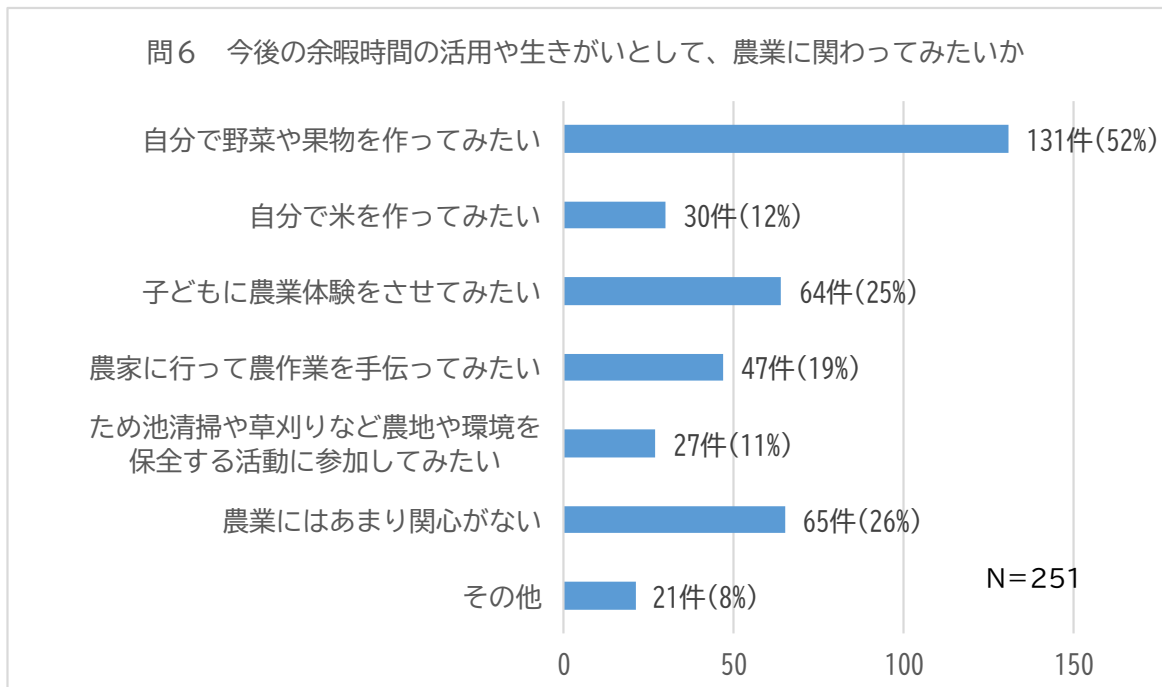
日本では、古くからし尿を肥料として活用する文化がありました。し尿には、作物の育成に有効な成分が多く含まれており、下水処理場で処理をした汚泥を脱水し、堆肥化すると有効な肥料になります。「下水」にはマイナスなイメージもあり、これまであまり利用されてきていませんが、世界情勢が不安定化する中で、これまで輸入に頼ってきた化学肥料に代わる肥料原料として注目が集まっています。



■農業体験についてお聞きします

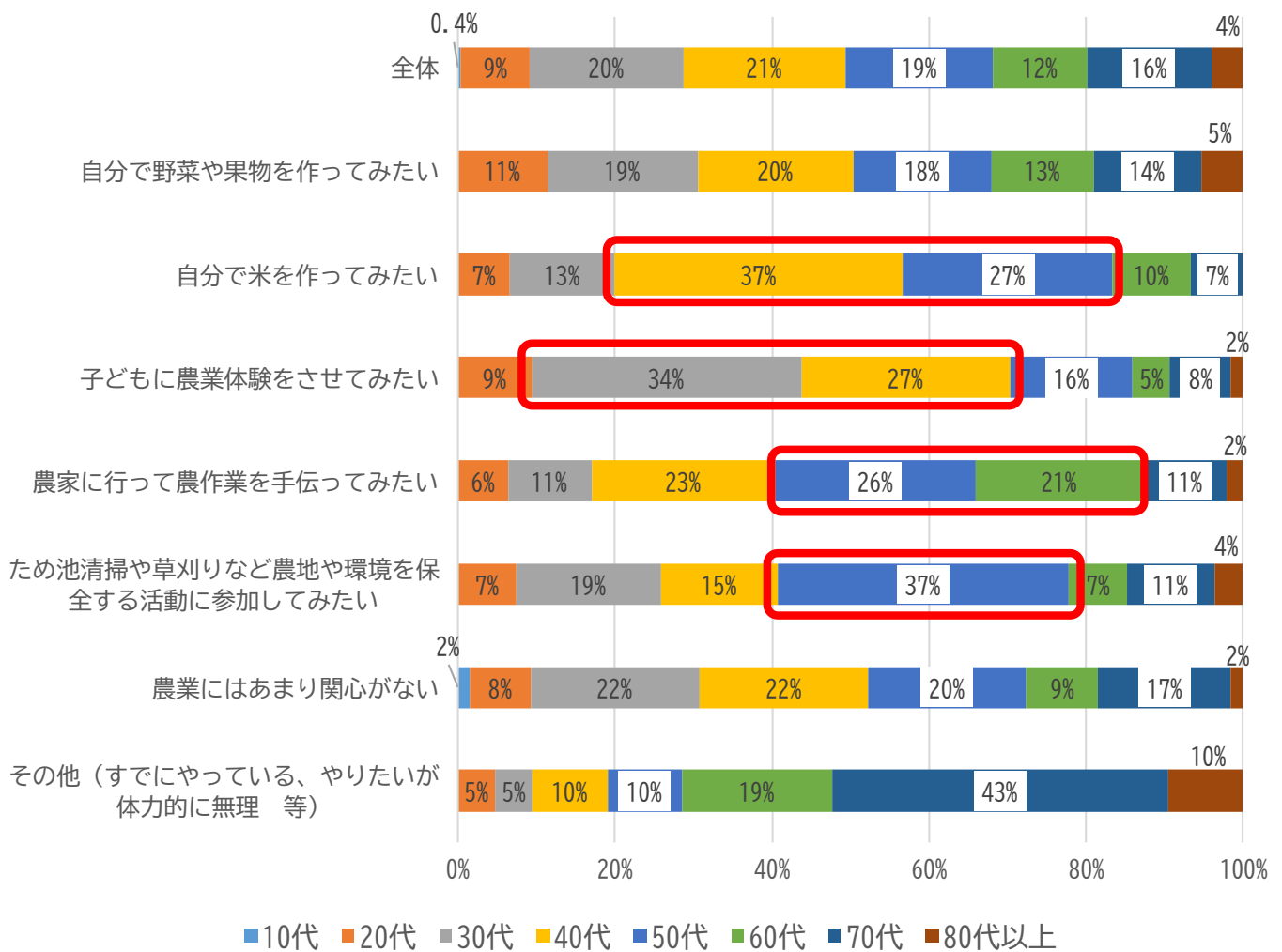
Q6 あなたは今後の余暇時間の活用や生きがいとして、農業に関わってみたいですか。
(いくつでも回答可)

	項目	件数	%
1	自分で野菜や果物を作ってみたい	131	52%
2	自分で米を作ってみたい	30	12%
3	子どもに農業体験をさせてみたい	64	25%
4	農家に行って農作業を手伝ってみたい	47	19%
5	ため池清掃や草刈りなど農地や環境を保全する活動に参加して みたい	27	11%
6	農業にはあまり関心がない	65	26%
7	その他（すでにやっている、やりたいが体力的に無理 等）	21	8%



	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
自分で野菜や果物を作ってみたい	0	15	25	26	23	17	18	7	131
自分で米を作ってみたい	0	2	4	11	8	3	2	0	30
子どもに農業体験をさせてみたい	0	6	22	17	10	3	5	1	64
農家に行って農作業を手伝ってみたい	0	3	5	11	12	10	5	1	47
ため池清掃や草刈りなど農地や環境を保全する活動に参加してみたい	0	2	5	4	10	2	3	1	27
農業にはあまり関心がない	1	5	14	14	13	6	11	1	65
その他（すでにやっている、やりたいが体力的に無理 等）	0	1	1	2	2	4	9	2	21

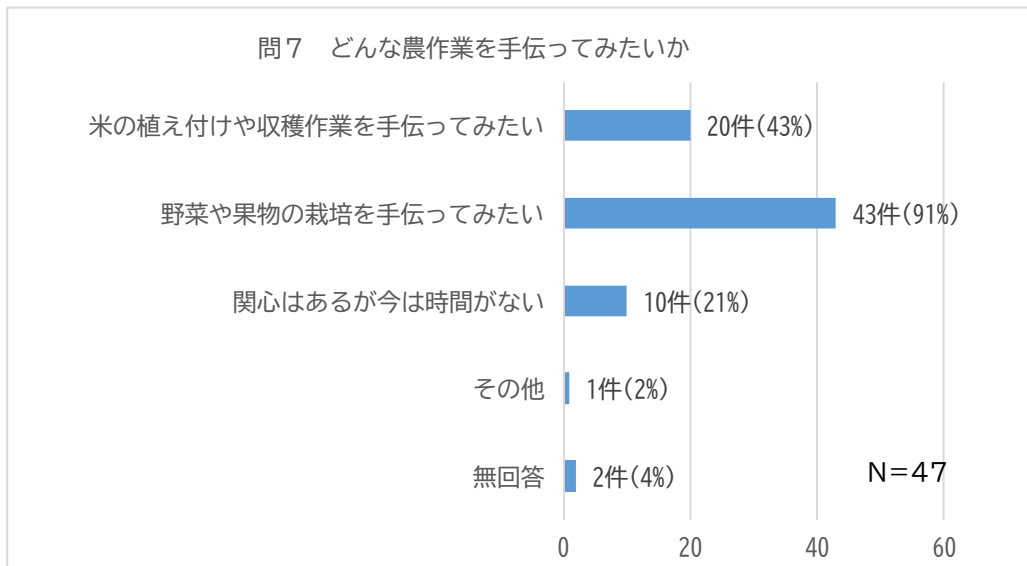
【問6×年代】 今後の余暇時間の活用や生きがいとして、農業に関わってみたいか



Q6で「農家に行って農作業を手伝ってみたい」を選んだ方にお伺いします。

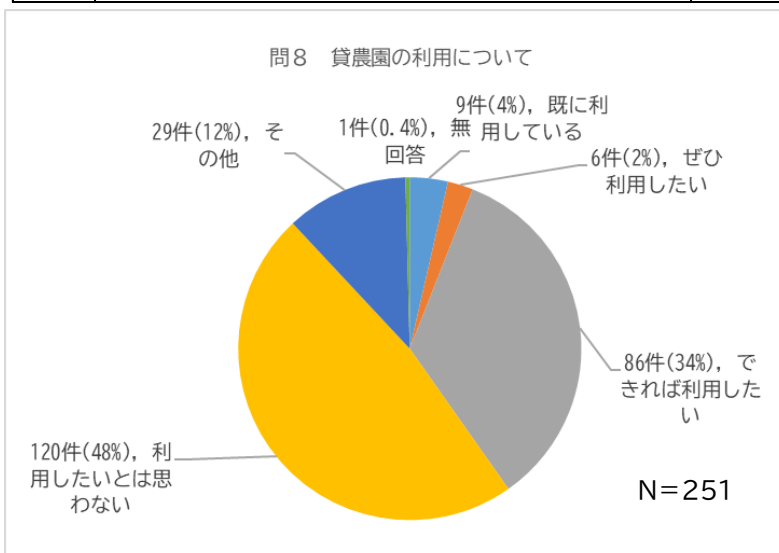
Q7 どんな農作業をやってみたいですか。(いくつでも回答可)

	項目	件数	%
1	米の植え付けや収穫作業を手伝ってみたい	20	43%
2	野菜や果物の栽培を手伝ってみたい	43	91%
3	関心はあるが今は時間がない	10	21%
4	その他	1	2%
99	無回答	2	4%

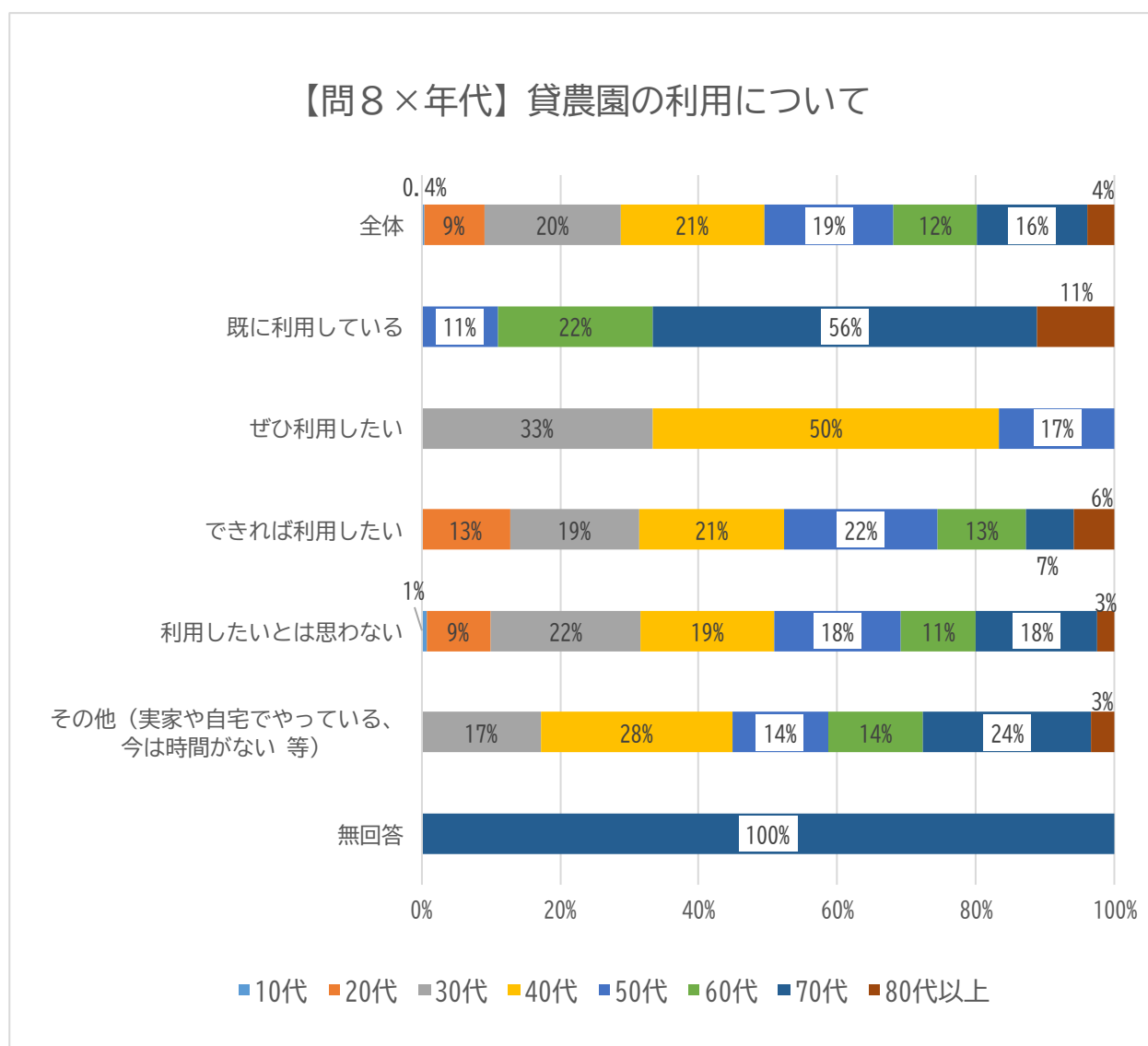


Q8 明石市には営農組合や民間団体等が運営する市民農園がありますが、貸農園の利用についてはどう思いますか。(1つだけ回答可)

	項目	件数	%
1	既に利用している	9	4%
2	ぜひ利用したい	6	2%
3	できれば利用したい	86	34%
4	利用したいとは思わない	120	48%
5	その他(実家や自宅でやっている、今は時間がない等)	29	12%
99	無回答	1	0.4%



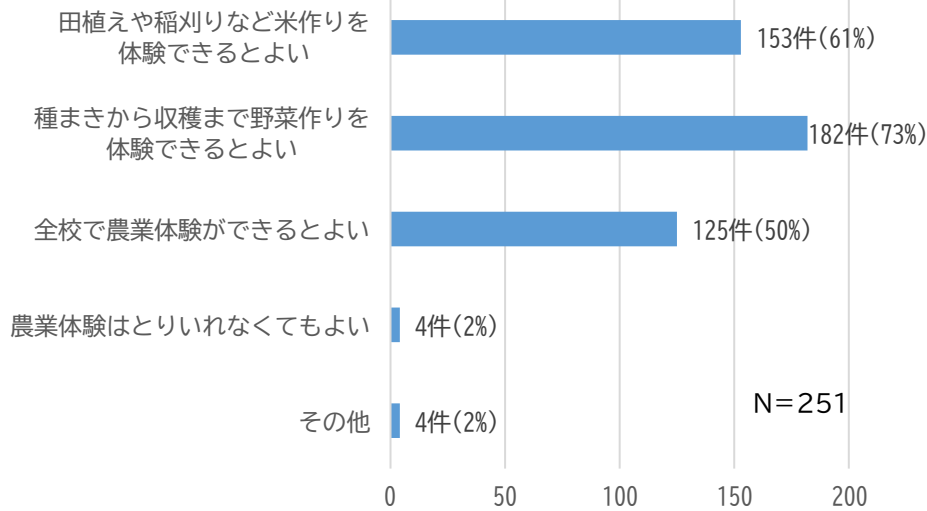
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
既に利用している	0	0	0	0	1	2	5	1	9
ぜひ利用したい	0	0	2	3	1	0	0	0	6
できれば利用したい	0	11	16	18	19	11	6	5	86
利用したいとは思わない	1	11	26	23	22	13	21	3	120
その他（実家や自宅で行っている、今は時間がない等）	0	0	5	8	4	4	7	1	29
無回答	0	0	0	0	0	0	1	0	1



Q9 小学校の学校農園や農業体験についてどう思いますか。（いくつでも回答可）

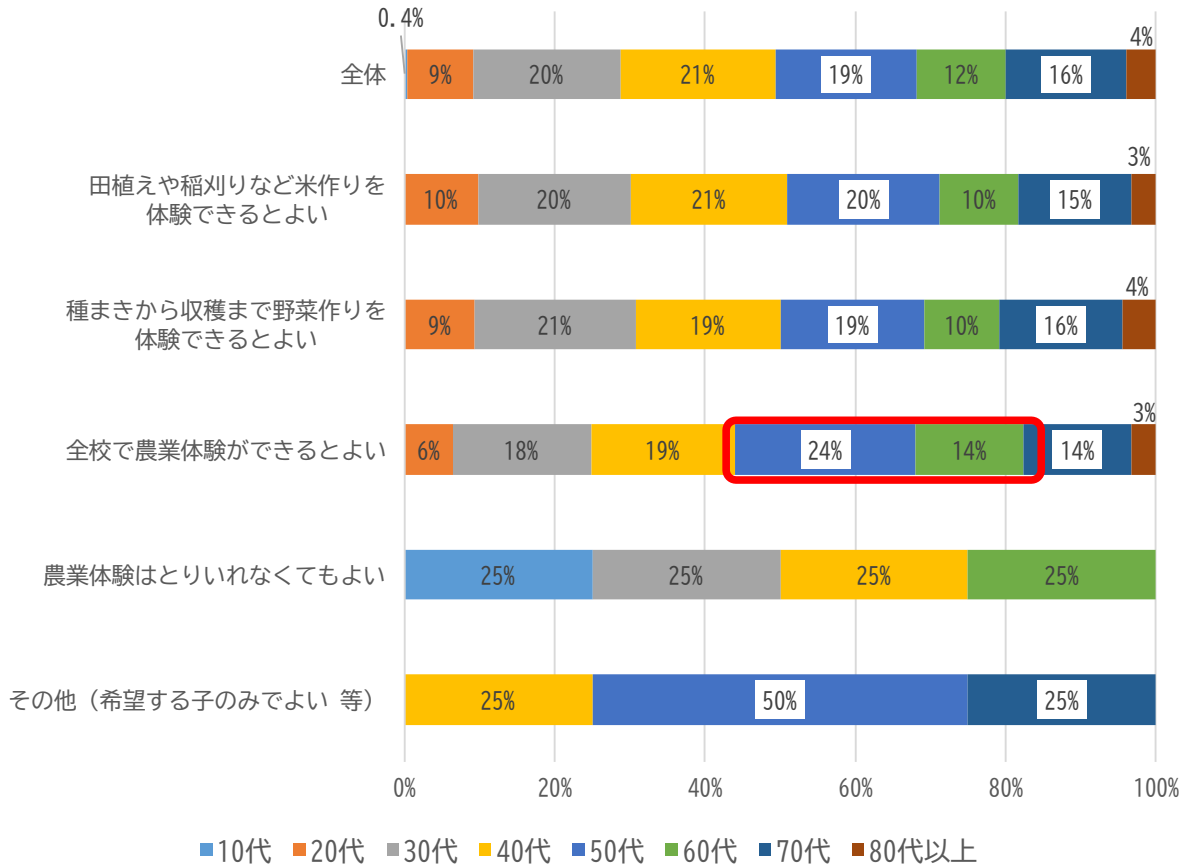
	項目	件数	%
1	田植えや稲刈りなど米作りを体験できるとよい	153	61%
2	種まきから収穫まで野菜作りを体験できるとよい	182	73%
3	全校で農業体験ができるとよい	125	50%
4	農業体験はとりいれなくてもよい	4	2%
5	その他（希望する子のみでよい等）	4	2%

問9 小学校の学校農園や農業体験についてどう思うか



	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
田植えや稲刈りなど米作りを体験できるとよい	0	15	31	32	31	16	23	5	153
種まきから収穫まで野菜作りを体験できるとよい	0	17	39	35	35	18	30	8	182
全校で農業体験ができるとよい	0	8	23	24	30	18	18	4	125
農業体験はとりいれなくてもよい	1	0	1	1	0	1	0	0	4
その他 (希望する子のみでよい 等)	0	0	0	1	2	0	1	0	4

【問9×年代】小学校の学校農園や農業体験についてどう思うか



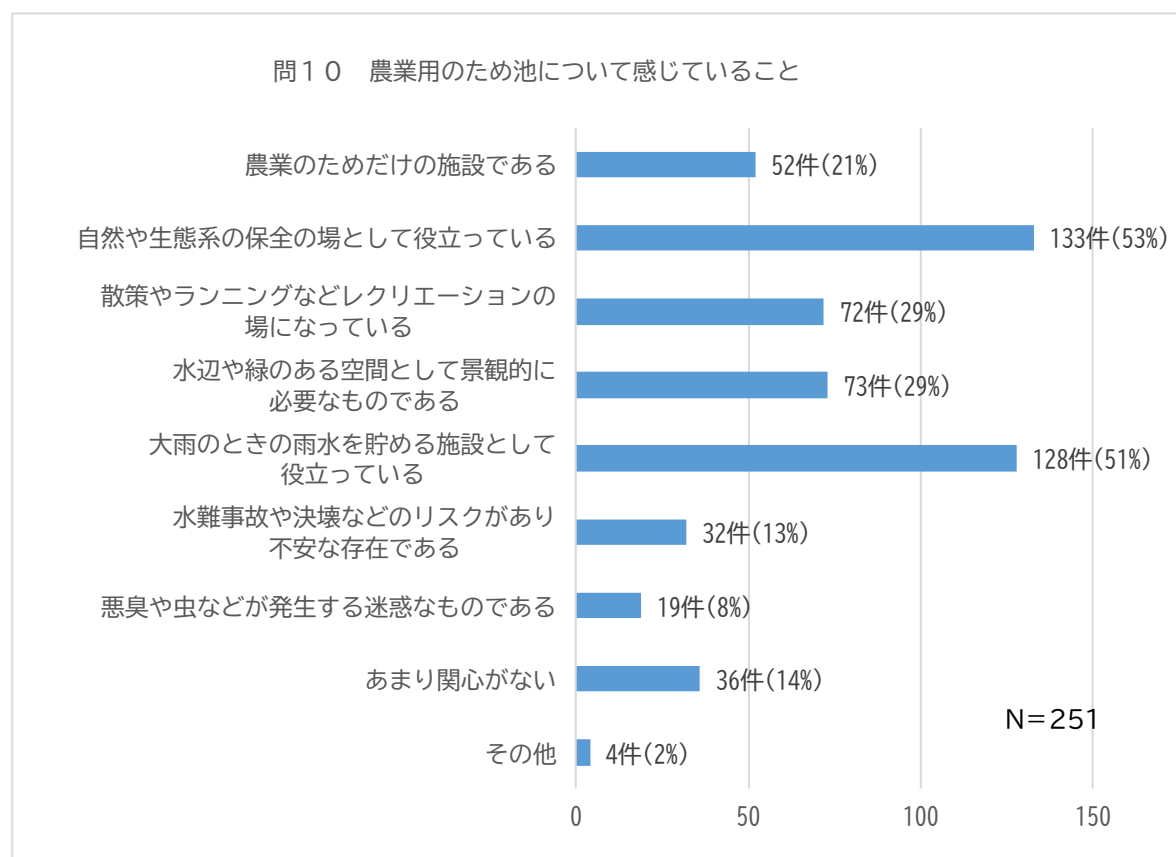
■農業用のため池についてお聞きします

明石のため池

明石市内には農業用ため池が 100 か所以上あります。ため池は、農業用水を供給する役割を果たすとともに、浸水被害の軽減など防災の役割や豊かな生態系や環境の保全など、さまざまな役割を果たすと言われています。また、明石市では、豊かな海を再生する取り組みとして、農業者と漁業者が連携し、ため池の底（砂、泥）に含まれる栄養分を海に流す「かいぼり」などの取り組みも実施しています。

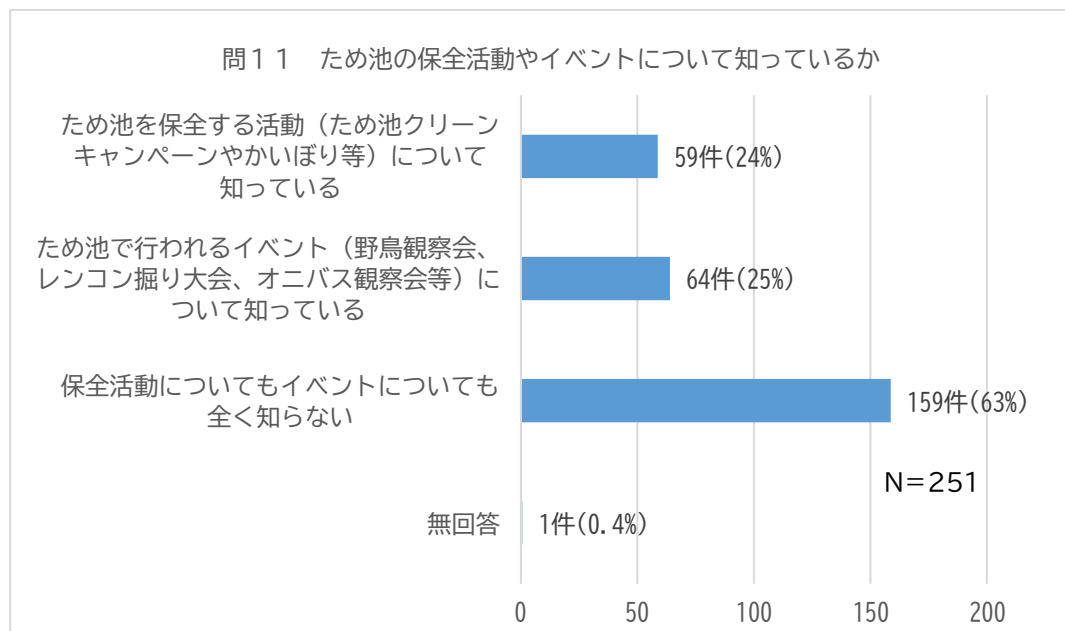
Q10 農業用のため池について感じていることを教えてください。（3つまで回答可）

	項目	件数	%
1	農業のためだけの施設である	52	21%
2	自然や生態系の保全の場として役立っている	133	53%
3	散策やランニングなどレクリエーションの場になっている	72	29%
4	水辺や緑のある空間として景観的に必要なものである	73	29%
5	大雨のときの雨水を貯める施設として役立っている	128	51%
6	水難事故や決壊などのリスクがあり不安な存在である	32	13%
7	悪臭や虫などが発生する迷惑なものである	19	8%
8	あまり関心がない	36	14%
9	その他（危険なので柵を高くしてほしい、釣り場として開放してほしい 等）	4	2%



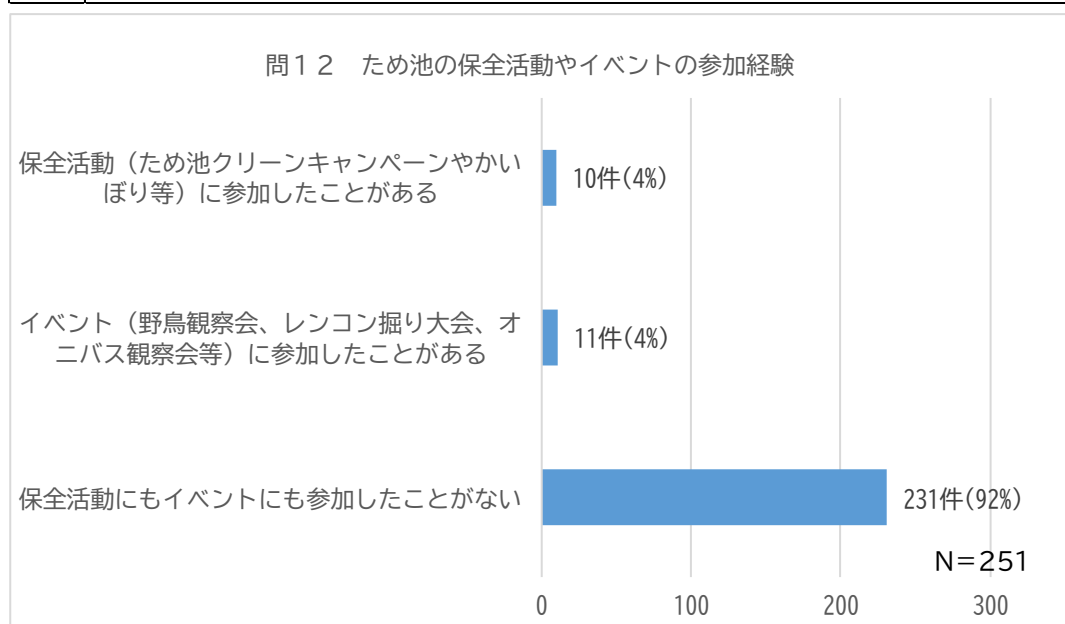
Q11 ため池では、農業者以外の人が参加する保全活動やイベントが行われています。下記のような取組を知っていますか。（2つまで回答可）

	項目	件数	%
1	ため池を保全する活動（ため池クリーンキャンペーンやかいぼり等）について知っている	59	24%
2	ため池で行われるイベント（野鳥観察会、レンコン掘り大会、オニバス観察会等）について知っている	64	25%
3	保全活動についてもイベントについても全く知らない	159	63%
99	無回答	1	0.4%



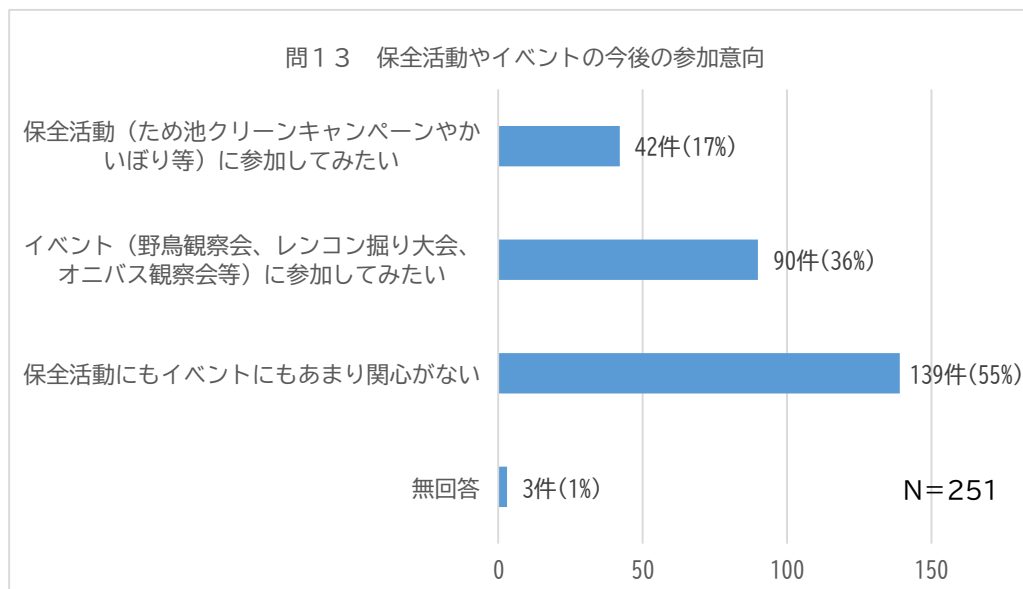
Q12 保全活動やイベントへの参加経験について教えてください。（2つまで回答可）

	項目	件数	%
1	保全活動（ため池クリーンキャンペーンやかいぼり等）に参加したことがある	10	4%
2	イベント（野鳥観察会、レンコン掘り大会、オニバス観察会等）に参加したことがある	11	4%
3	保全活動にもイベントにも参加したことがない	231	92%

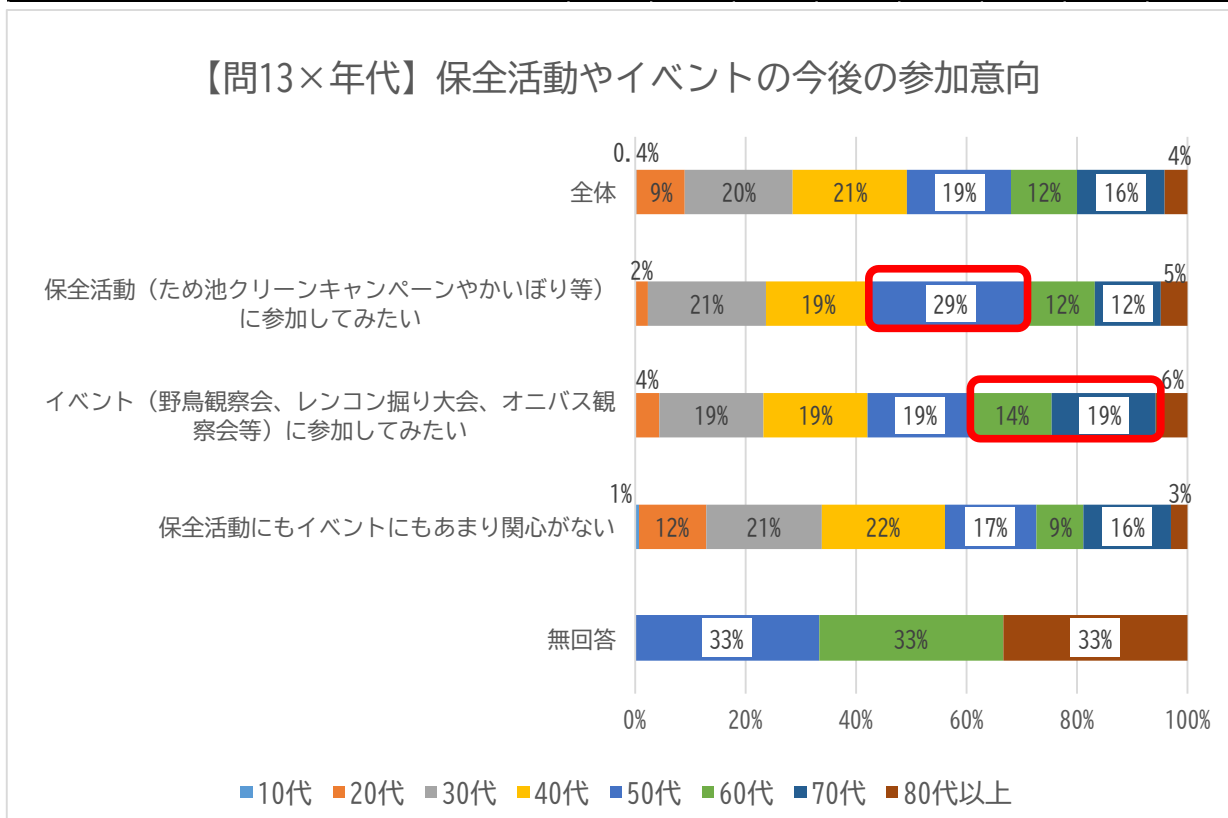


Q13 保全活動やイベントへの今後の参加意向について教えてください。（2つまで回答可）

	項目	件数	%
1	保全活動（ため池クリーンキャンペーンやかいぼり等）に参加してみたい	42	17%
2	イベント（野鳥観察会、レンコン掘り大会、オニバス観察会等）に参加してみたい	90	36%
3	保全活動にもイベントにもあまり関心がない	139	55%
99	無回答	3	1.2%



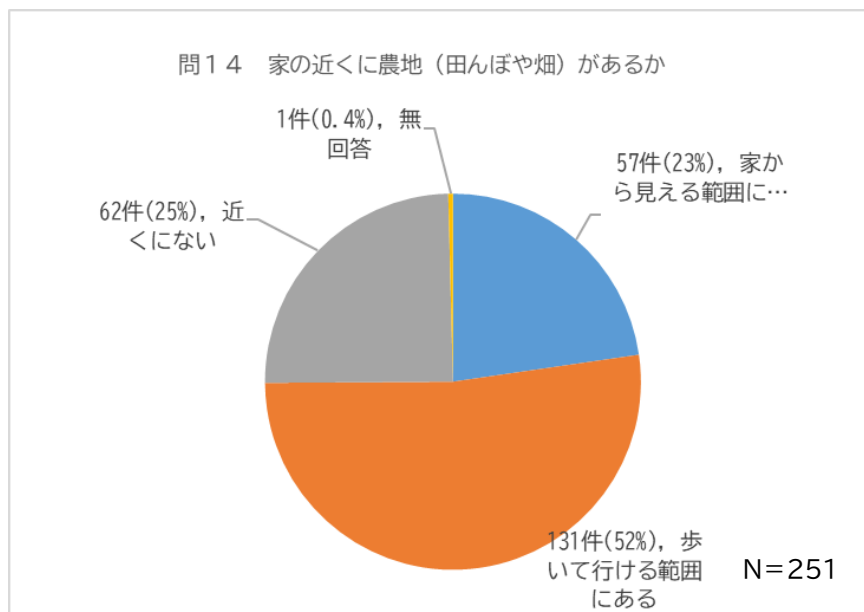
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
保全活動（ため池クリーンキャンペーンやかいぼり等）に参加してみたい	0	1	9	8	12	5	5	2	42
イベント（野鳥観察会、レンコン掘り大会、オニバス観察会等）に参加してみたい	0	4	17	17	17	13	17	5	90
保全活動にもイベントにもあまり関心がない	1	17	29	31	23	12	22	4	139
無回答	0	0	0	0	1	1	0	1	3



■明石市の農業とその役割についてお聞きします

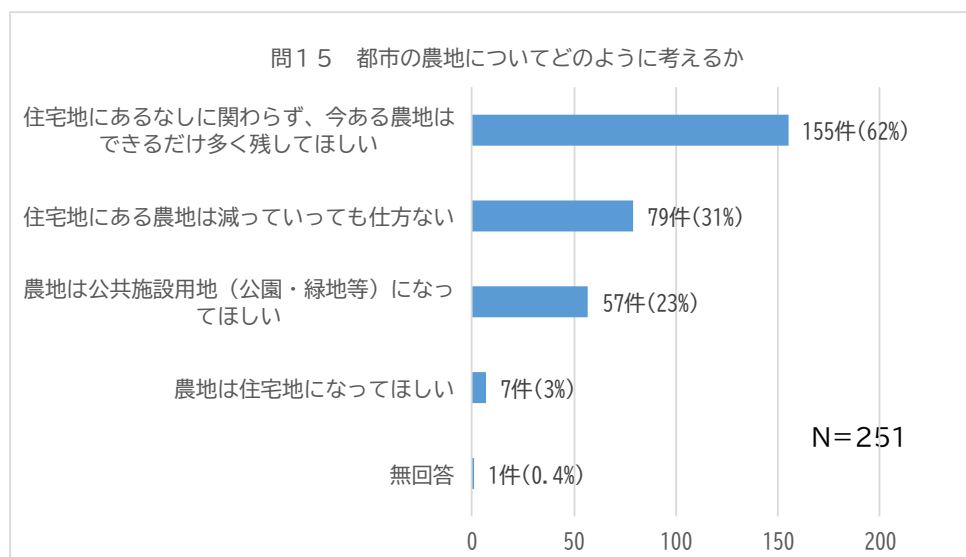
Q14 家の近くに農地（田んぼや畑）はありますか。（1つだけ回答可）

	項目	件数	%
1	家から見える範囲にある	57	23%
2	歩いて行ける範囲にある	131	52%
3	近くにない	62	25%
99	無回答	1	0.4%



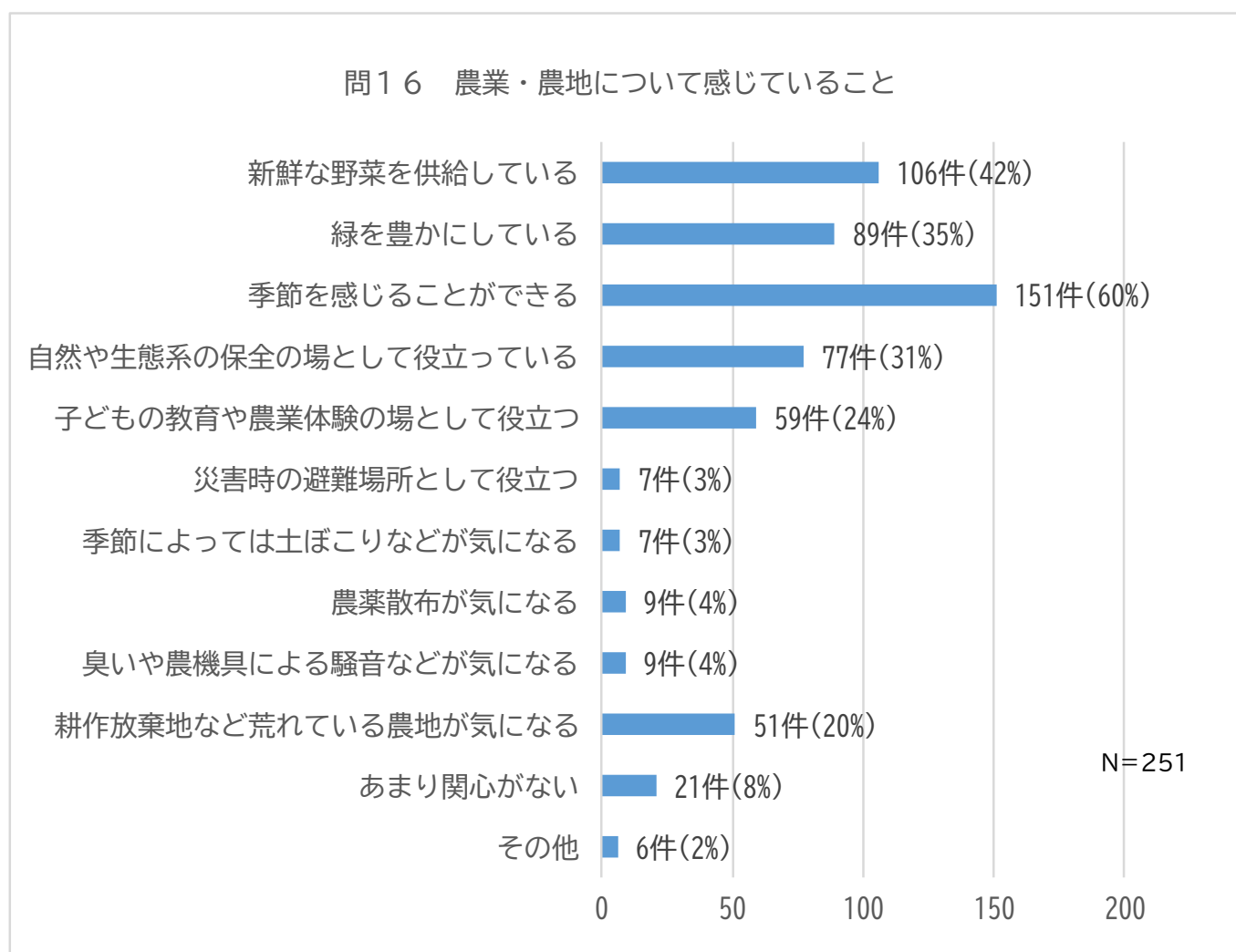
Q15 明石市では、農地が年々減少する傾向にあります。あなたは都市の農地についてどのようにお考えですか。（3つまで回答可）

	項目	件数	%
1	住宅地にあるなしに関わらず、今ある農地はできるだけ多く残してほしい	155	62%
2	住宅地にある農地は減っていても仕方ない	79	31%
3	農地は公共施設用地（公園・緑地等）になってほしい	57	23%
4	農地は住宅地になってほしい	7	3%
99	無回答	1	0.4%



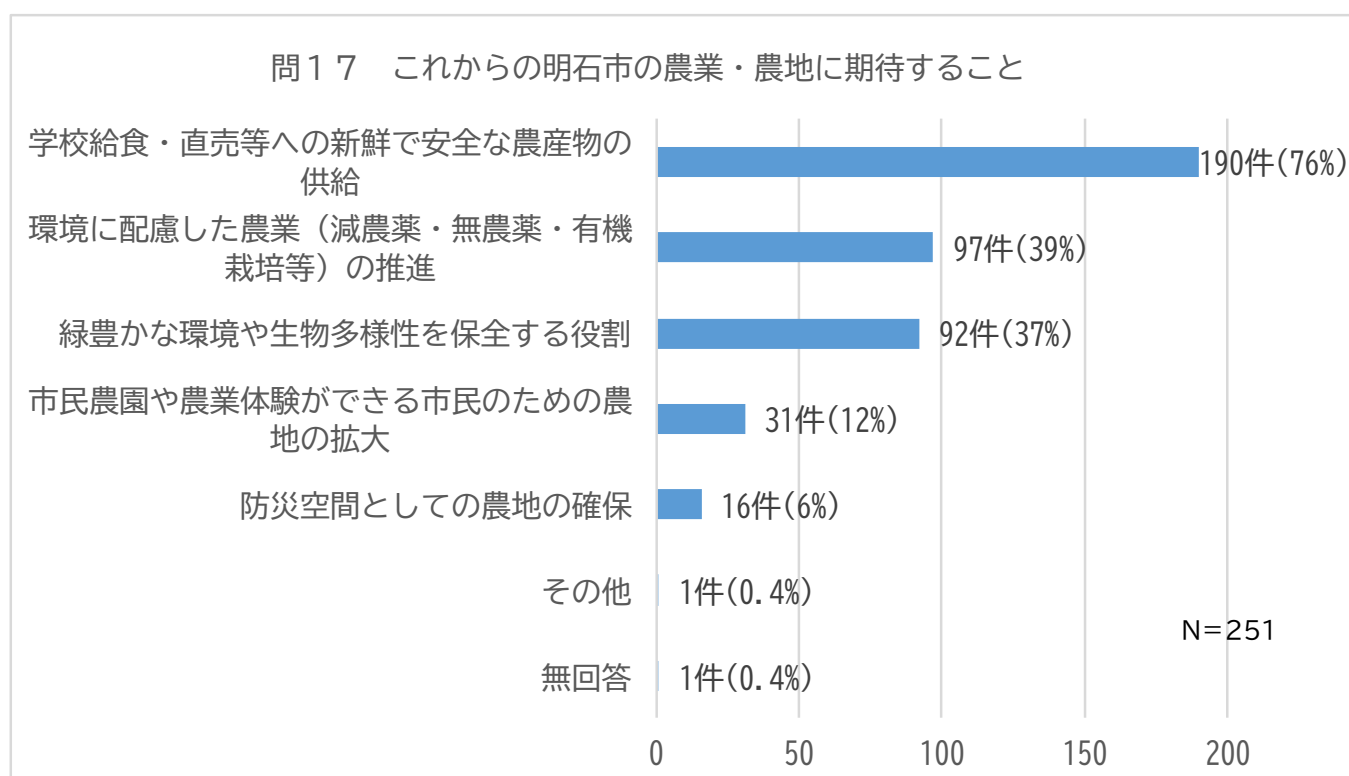
Q16 あなたのまわりの農業・農地について感じていることを教えてください。（3つまで回答可）

	項目	件数	%
1	新鮮な野菜を供給している	106	42%
2	緑を豊かにしている	89	35%
3	季節を感じるができる	151	60%
4	自然や生態系の保全の場として役立っている	77	31%
5	子どもの教育や農業体験の場として役立つ	59	24%
6	災害時の避難場所として役立つ	7	3%
7	季節によっては土ぼこりなどが気になる	7	3%
8	農薬散布が気になる	9	4%
9	臭いや農機具による騒音などが気になる	9	4%
10	耕作放棄地など荒れている農地が気になる	51	20%
11	あまり関心がない	21	8%
12	その他（道路に泥を落とさないでほしい 等）	6	2%



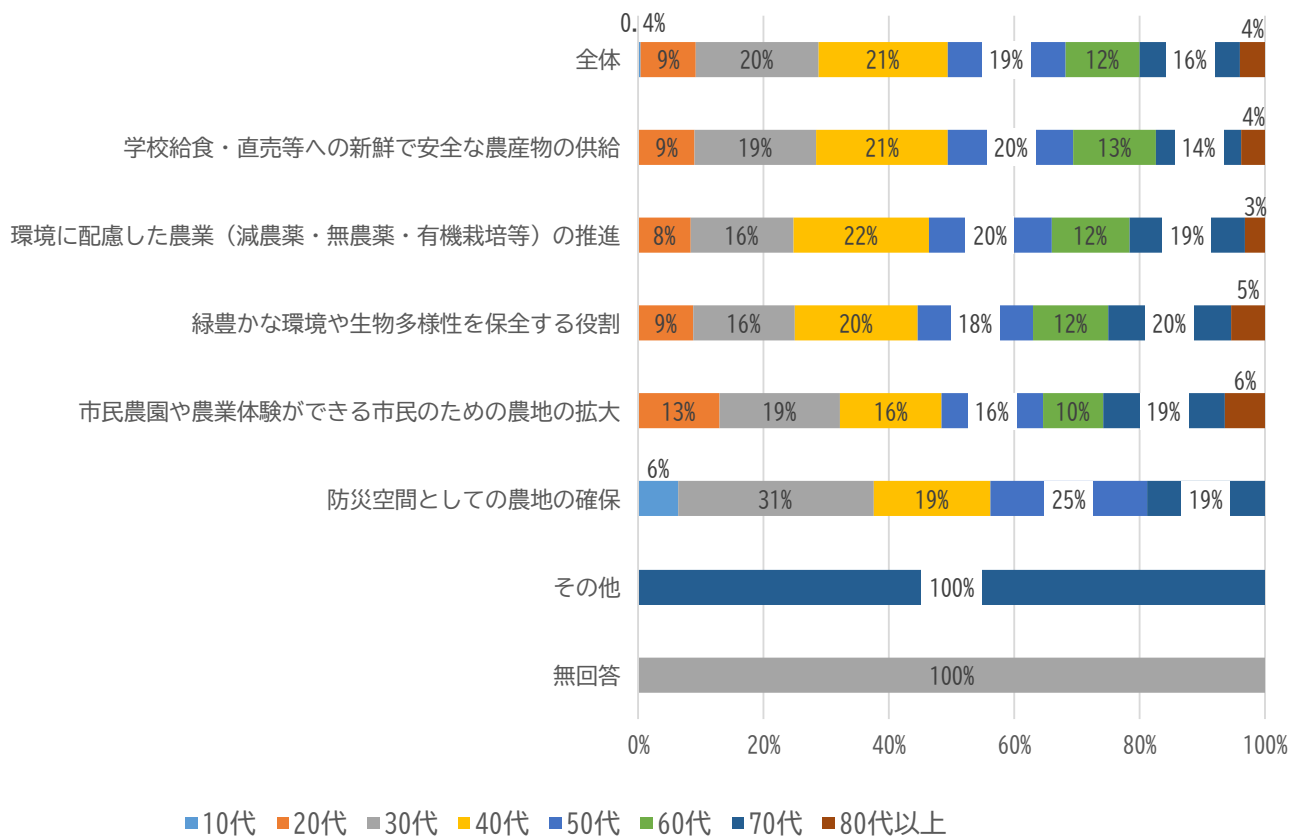
Q17 これからの明石市の農業・農地についてどんなことを期待しますか。（2つまで回答可）

	項目	件数	%
1	学校給食・直売等への新鮮で安全な農産物の供給	190	76%
2	環境に配慮した農業（減農薬・無農薬・有機栽培等）の推進	97	39%
3	緑豊かな環境や生物多様性を保全する役割	92	37%
4	市民農園や農業体験ができる市民のための農地の拡大	31	12%
5	防災空間としての農地の確保	16	6%
6	その他	1	0%
99	無回答	1	0.4%



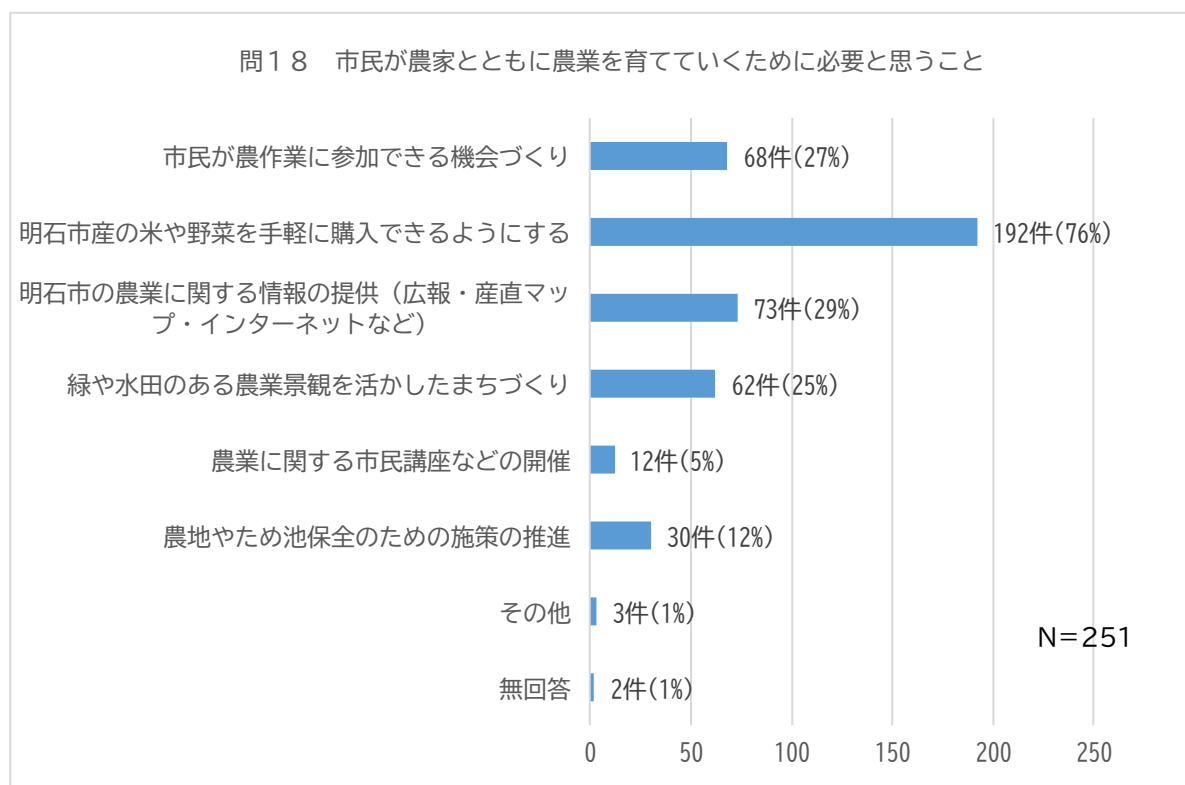
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
学校給食・直売等への新鮮で安全な農産物の供給	0	17	37	40	38	25	26	7	190
環境に配慮した農業（減農薬・無農薬・有機栽培等）の推進	0	8	16	21	19	12	18	3	97
緑豊かな環境や生物多様性を保全する役割	0	8	15	18	17	11	18	5	92
市民農園や農業体験ができる市民のための農地の拡大	0	4	6	5	5	3	6	2	31
防災空間としての農地の確保	1	0	5	3	4	0	3	0	16
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	1
無回答	0	0	1	0	0	0	0	0	1

【問17×年代】 これからの明石市の農業・農地に期待すること



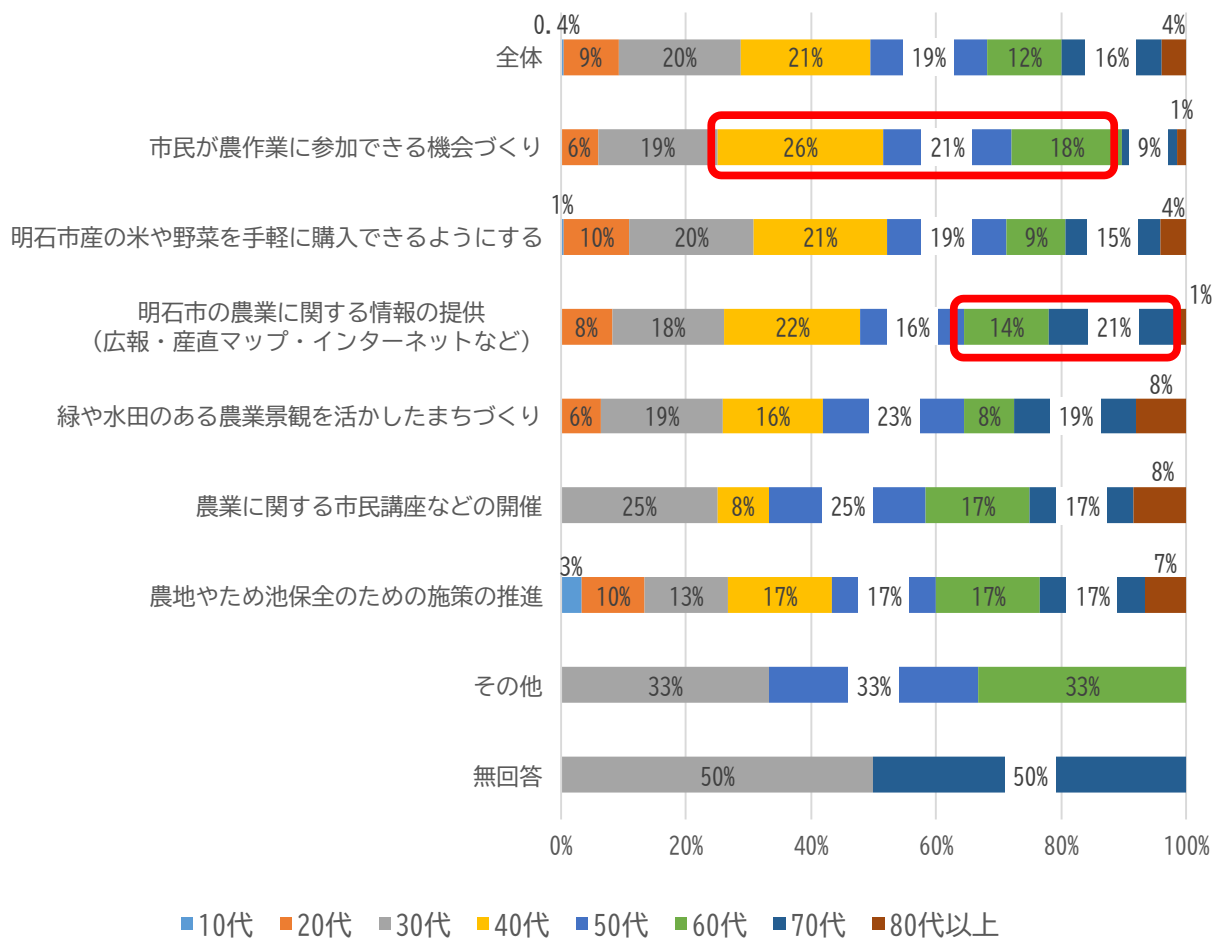
Q18 市民が農家とともに農業を育てていくために必要と思うことを選んでください。
 (2つまで回答可)

	項目	件数	%
1	市民が農作業に参加できる機会づくり	68	27%
2	明石市産の米や野菜を手軽に購入できるようにする	192	76%
3	明石市の農業に関する情報の提供（広報・産直マップ・インターネットなど）	73	29%
4	緑や水田のある農業景観を活かしたまちづくり	62	25%
5	農業に関する市民講座などの開催	12	5%
6	農地やため池保全のための施策の推進	30	12%
7	その他	3	1%
99	無回答	2	1%



	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
市民が農作業に参加できる機会づくり	0	4	13	18	14	12	6	1	68
明石市産の米や野菜を手軽に購入できるようにする	1	20	38	41	37	18	29	8	192
明石市の農業に関する情報の提供（広報・産直マップ・インターネットなど）	0	6	13	16	12	10	15	1	73
緑や水田のある農業景観を活かしたまちづくり	0	4	12	10	14	5	12	5	62
農業に関する市民講座などの開催	0	0	3	1	3	2	2	1	12
農地やため池保全のための施策の推進	1	3	4	5	5	5	5	2	30
その他	0	0	1	0	1	1	0	0	3
無回答	0	0	1	0	0	0	1	0	2

【問18×年代】市民が農家とともに農業を育てていくために必要と思うこと



Q19 明石市農業の振興のために、意見やアイデアがあれば、以下の欄に自由にお書きください。

【イベント】

- 気軽に出来るものであれば、参加しやすいので、そういうイベントを増やして欲しい
- 親子や子どもが農業体験ができるようなイベントを開催する。（種まき、収穫、調理など最後まで体験できるとなおよい。）駅から離れたところでの農作業のイベントが多いので、公共交通機関（鉄道など）でいける場所での開催があると参加しやすいと思います。農業の経験がないので、もし近場で体験できるのであれば是非参加してみたいです。
- 子どもと一緒に農業体験できるイベントを開き、週末だけでも定期的に農業する人を増やせば、荒れた放棄地の活用にもなるのでは。副業でも良いので農業従事者の増加を期待したい。
- 一般の人も参加しやすい農業体験。珍しい品種の野菜の栽培と一般への紹介の充実。
- 地元ではなく引っ越してきたため、農地が思っていたより少ないことに驚いた。近くに農地貸出があったが、使用料が高かったため検討できなかった。補助やイベントがあれば使用する機会になるかもしれない。
- 明石市のイベント、お祭りで人が集まる時にお野菜購入ブース。子供達が参加できる野菜収穫体験（きゅうりや、ピーマンなど掴みやすく呑み込み事故がおこらなさそうな野菜）（軍手やエプロンなど服や手が汚れないようなものもあれば参加者が増える？）（手洗い場などあればなお良い）明石の野菜を使った料理を手軽に食べれる屋台（片手で食べれるような）子供でも飲みやすい野菜ジュース（レシピ付き）お野菜デザート（例 にんじんクッキーや、夏場はかき氷やアイスクリームなども）一つのお野菜を、皮からヘタまで全てを様々な調理方法で食べれる。という事を紹介する試食コーナー。腐りにくい保存方法の紹介。日持ちする料理の紹介。家庭菜園用の苗、タネ販売コーナー（肥料や、鉢などは重かったり危ないので無しで）お金を出し入れが大変なので、チケットにしたりやスタンプラリーのような厚紙に、参加する項目ののっており一つ一つスタンプをもらいながら参加して、スタンプが溜まったらお野菜の詰め合わせと交換できるようなシステムも楽しそうかなと思います。このような感じの見て食べて楽しみながら、明石のお野菜を手軽に楽しめるブースがあれば大人も子供も楽しそうだなあとと思います。野菜が苦手な子供が、保育園でもちらほら見かけるので、自分たちが触れたり、調理や収穫ができれば食べるきっかけに繋がっていいなとも思います。土などで汚れることを気にされる方や、たまたまふらっと来られた方なども参加できるようなシステムがあれば良いなとも思います。小さい子供達の衝突事故や迷子などを防ぐ。待ち時間を少なくして熱中症やストレスを防ぐために時間帯で分けて、混雑を予防するのもいいなとも思います。ネット予約で簡単に参加予約ができるシステムもありがたいと思います。明石の肉フェスのような、明石さん家（産地）の野菜フェスがいつか毎年の恒例行事になり明石産の野菜をたくさんの人たちが食べてくれますように。いつも頑張ってお野菜を使って下さっている農家の方も、積極的にイベントなどに来て見て頂いてみんなが笑顔で野菜を食べる姿を見てエネルギーにもなれば良いなとも思います。

【施設・場所づくり】

- 明石産の農産物が購入でき、その食材を使ったカフェなど飲食店が数店舗入った施設があると嬉しい（大型駐車場完備）
- 市民参加の米作り、野菜作り等が出来る場所づくりをつくる
- スーパーに売ってる野菜よりファーマンで買う野菜のほうが鮮度が良く長持ちもします。明石

のフレッシュ、モアを訪れる度に規模が小さくいつも売れ残りしかないのが残念で、稲美町迄よく買い出しに行くようにしています。明石にもっと施設があればと思います。限られたスーパーには明石産コーナーがあるのでスーパーに行けば必ずそのコーナーから物色しますが…少ないです。地元産を食べたいのですがなかなか手に入らないので店を増やして欲しいです。

- 駐車場があり、車で訪れることができる直売所が増えると嬉しい。
- できるだけ地元の農作物を食べたいですが、なかなか気軽に行ける範囲で購入できる場所がありません。明石駅周辺で定期的にマルシェを開いて欲しいです。海外のウィークエンドマーケットのような、小規模でも良いのでクオリティを高くして、旬の野菜や果物を農家さんと近い距離で購入できる機会を増やして欲しいです。宣伝の仕方なども小さなお子さんがいるご家庭などにも口コミで広げて貰えるように、SNSも十分に活用して頂きたいです。
- ビルや建物の屋上を利用した田畑を作り、学生の体験学習等に活用する。また、同所にベンチ等を設置し、休憩出来るような施設として活用する。
- 明石市が一括して貸農園の窓口となれば申し込みしやすく、家庭菜園を実際にやってみる人が増えるのではないかと思います。
- 貸農園を増やす安価で
- 妻と子供が神戸の「あいな の里」のイベントに行き、野菜の収穫体験や農業を考える講演会、映画の上演会観て食と農業について真剣に考える貴重な機会となったようです。魚住から大久保の明姫幹線沿いの広い農地の一面に、あいな の里のような皆が集える場ができ、農業を考え楽しみ、若い方の農業参加の機会の場ができたなら嬉しいと言っていました。
- 道の駅など、明石の農産物や水産物など特産物を扱う施設があっても良いと思います。駐車場や子供が遊べる公園なども併設して、活気がある施設になると明石で取れる魚や野菜をもっと身直に感じれると思います。
- 近くに貸農園を作ってほしい(現在神戸市の貸農園を利用中)
- 貸農園が近くにあればいいのと思う。すぐに宅地にせず、貸し出してほしい。

【就農支援、法人化等】

- 新たに農業を始める方の為に低率の融資制度
- 明石市が新しい農業ビジネスを企画、提案して新規参入者(企業、個人)の誘致を広報、SNS等で発信してもらえたらと思います。食糧自給率の低いこの国を農業のみならず、それらに関わる産業を各自治体が協力し合って盛り上げていって貰えたら嬉しいです。
- 農地は今後必要なので 20-40 代の農家の方に補助金を出すか、納税を一部免除するなどの待遇を図るべきと考えます。また明石産の野菜について何らかのご当地物があれば(京野菜のような)それをブランディングする事も必要と思います。
- よくあるお話ですが、個人事業での収入の不安定さから、就業意欲が乏しくなるため、法人経営により雇用することで収入の安定化を図り、また法人が共同して明石のブランド化を進めることが必要と思います。複数の食材での共通のブランドを作って、そこに何かの物語があると楽しいと思います。
- 市と JA が協力し、会社を設立して、組織的に行う。若者の雇用にも役立つのでは。
- 若い人が参入しやすい環境が必要。株式会社方式とか、休耕地は半強制的に優良な会社に、貸与出来るようにするとか、また、販路も自由に選択出来るとか、自給率を上げれる立体的工場での栽培とか、規制を緩めることで安価で消費が伸びる等々の行政が必要。企業の監査は忬度

なく徹底する…羅列して申し訳ありません。

- 行政が耕作放棄地を買い取って新たに専業農家になりたい人を育てるような取り組みを考えてほしい。

【食育】

- 明石の給食は野菜も多く、献立が豊かです。給食でこれからも明石の野菜を取り入れてほしいです。地産地消で、農家の方を応援していきたいです。
- 若者が少ないので後を継ぐ人がいない。小学校でも定期的に農業体験を取り入れて関心を高めてほしい
- 小学校でコメ作り等の授業をしてはどうでしょうか。
- 明石は子供を育てる場所に力をいれ人口が増えています。保育園や学校にイベントとして農業体験を取り入れ自然に触れる機会を多くしていくのが良いかと思います。
- 農家さんの高齢化などで雑木林くらいになってもほったらかしの土地があり勿体無い、手伝いたいひともおもう。小中学生の給食に役立つといいなあと思います。出来れば低農薬や有機野菜作物を子どもたちに食べさせてあげたいです
- 子供が幼稚園～小学生の時に体験する「芋ほり」や「朝顔・ミニトマト・オクラを種から育て観察し絵日記に書く」など、小さい時から自然に接しながら農家や農業についての体験学習はいいですね。中学生には田植えや稲刈りを農家の方の指導で体験するのもいいですね。また、この時は農家の子供がみんなのリーダーとして活躍します。難しくもあるけれど喜びも大きいのでは！大人になっても残る楽しい思い出となりそうです。
- 小学生の段階でお米がどうやって作られて、自分達がどの様にして購入し食べているかを作る段階から一貫して体験させてもらえたら嬉しいです。回覧板の紙媒体ではあまり意味を感じていなく、参加のお知らせをLINEやこのGoogleアンケート等で発信、配信していただければ30～40代は見ると思います。また明石産農産物をどのスーパーならよく購入出来るかはだいたい主婦ならわかると思いますが、中々出回っていません。明石のりも、明石鯛も大好きだけど高い。地産地消は難しいでしょうか。神戸南のイオンで明石産のお魚をよくみます。明石の高校生や中学生さん達が大人に農業を聞いて作り、小学生達にまた教えて～を全校でしてくれたら嬉しいです。
- こどもたちが人として成長するためには植物や生物に触れて地球の自然の本質を体験することは知的な学びの前に必要なことだと感じています。・農業につながる食は早い、安い、簡単、便利、流行などの時代の変化に振り回されずにもっと未来に目を向けて本当に必要なことは何かを選択する時ではないでしょうか。地産地消で作物を消費できることはSDGSにつながると思います。・明石市で若い人が農業を仕事として携わりたくなるような仕組みづくりや高齢化した現農家の後継者につなげる活動やシステムづくりも市や県、国の役割だと思います。新しいことも取り入れながら守るべきものは残していく。・作物や食べ物に対する誠実さを生産者と消費者の間で取り戻すために、大人と子どもと一緒に考える機会やチャンスを増やすことができるイベントや広報活動または場所が増えることを希望します。・誰かにメリットがある対策ではなく市民が豊かになる未来のための施策が必要。例)・田植えや収穫の時期は手伝いがしやすいように企業にも休暇を取れるよう働きかける。・仕事が見つからない人と人手不足の農家をつなぐ。農家へ行くまでの交通手段を用意する。・空き家、空き地での地域菜園の推進。空き地と地域を繋ぐ。・菜園に日々通うことで健康促進につながる。・未就学児・小学生・中学生の農業体験・作物だけではなくそれに関係する農薬、肥料、養蜂やビオトープなど自然循

環の学びなど。

- 子供達への農業に携わる機会を設けること

【ブランド化】

- 明石市ブランド無人販売作って欲しい
- なにか1~2品関西または全国ブランドにする努力をする。
- 知名度を上げること。身近に感じられて農作物を簡単に手に取りやすい状況を作ることが大切だと思う。
- 明石ブランドの野菜や、それを使った料理について情報発信してゆくのが良いと思う。
- 田植え前の泥リンピック大会や、明石ブランドの農産物、なんかがあれば面白いと思います。
- 明石市特産（ブランド）、マイナーな野菜の栽培、プラスアルファの価値をつけるなどしないと普通の農業は明石の地域性から廃れるだけだと感じる。研究機関等との連携やスマート農業など次世代農業で近代化することで住宅地との調和を保つのもひとつ
- 水産物に比べて明石といったらこれというような農産物がパッと思い浮かびません。明石産のものにはマークやキャラクター等を付けて売るなど、何か分かりやすい特徴をだすことで農業への関心も高まるのではと思います。
- 何かしらコンセプトを持って取り組むことが良いと考えます。例えば有機農法のみで行うとか無農薬だけで行うとか。あと、明石ならではの農産物を決めて積極的に栽培していくとことで特産品を生み出すことも良いかと考えます。その他、農業に携わる方への優遇措置は必要かと思えます。市として農業を活性化させたいのか耕作地を維持保全したいのかどちらかが計りかねますが、労働人口を確保するための措置は検討する必要があると思えます。
- 清水いちごのブランド力をもっとあげる。

【ボランティア・アルバイト】

- シニアは時間も余力を持って余している。ボランティア参加の発信、勉強会などをもっとして行く事により 振興の助けになるのではないでしょーか。
- ボランティアで作業に参加して、お礼として収穫物を分けてもらう、有償ボランティア制度などがあれば嬉しい。
- 農業に市民が触れて体験できる機会を増やし、就農のサポート体制を作ってはどうか。
- 会社勤務だといきなり農業はハードルが高いが月に数回、週に数回なら時間が取れる人を集めて持ち回りで参加できる組織などあればいいのかと思う、そこで得た作物などを販売した資金で利益など発生し賃金として分配できれば実際に農作業を主軸に生活していこうなどの足がかりになると思う。
- 興味があってもできない。というのが正直なところです。明石市で作られてる農作物も、あまり知らないのかもしれない。親戚に誰かいれば分かる事もあるでしょうが。近くの田んぼを見て、少しやらせて欲しいな…と思うこともありますが、知らない人だし、言えません。農業って、その道の人しか入る事が出来ないイメージです。仕事もあり、こちらの都合だけでは申し訳なく思いますし。手の空いている日に、お手伝いできる（農業に参加）場があれば良いのにとおもいます。素人なんで、出来る事も限られるかもしれませんが…。させて頂ける内容で良いんで。いま、流行っているスキマ時間にバイトできるアプリがありますよね？農家さん達が、必要な内容を掲載してもらい、興味があるものに申し込みして…。みたいな。それぞれの農家さんが、何を作っていてどこに出荷販売していて…と情報があれば、もっと愛着が湧くと

思う。うちの子も体験して、興味が「将来の夢」になってもいい。知ってもらって、大事かと思えます。知らない事ばかりなんで勝手な発想ですが。

- スキマバイトアプリなどで、農家のお手伝いの仕事をたまに見つけます。（市外も含む）農業系のバイトもすぐ埋まっていますが、車がないと行けない所がほとんどなので、人手が足りない時は、主要駅などから補助などをして送迎を出せば、車がない人や学生さんなどが集まるのではないかと思います。

【その他】

- 農地集約等で大規模化による効率化を出来ないでしょうか。
- 大規模消費地が近隣にあるので供給出来る大規模農地を作る方法が必要と思う
- 年々、田畑は減少していますが、結構 休耕地も多いと思うので それを活用するのを必要だと思う。そういう土地を市民に解放すべきではないだろうか
- 新しく農業に参加する人が増えるように、情報公開をしてほしい
- 農業について、皆が関心を持てる様な市としてのアピールを積極的にして行けば良いと思う。
- 私は、3年前から明石市に妻とともに居住しています。私の出身は、高砂市ですが、明石市に住み始めて最初に感じたのは、「住みやすい街」だということです。以前から私は、明石市は、トリプルスリー政策や、各振興事業により、住みやすい街を目指してる事は、知っていましたが、自信が住んでみて、実感することが出来ました。また、日頃、近くのスーパーに買い物に行きますが、明石市の農家で作られた野菜等が、沢山売られており、夫婦共々すごく美味しく頂いています。まだ私達は、明石市に住んで間もないですが、今後もずっと明石市で生活していきたいと考えています。
- このところとくに物価が高いので、野菜なども綺麗なものを安く買う視点で買い物していて、正直あまり明石産とかまでは見ていない。（国産か中国産かは見るものの）とはいえ、私のように一人暮らしであまりお金がかからない人の場合は、食費も知れているので、明石産のものを買うことで明石の農家さんの助けになるとか無農薬や有機栽培の良さを実感できれば、少しぐらい高くても買うと思う。農業の振興活動は今もされているのかもしれないけど、どんな活動があるのか全然知らなかったもので、目に触れる機会が増えれば興味も持つようになると思う。
- 自給率を向上するためにも、国産である作物、農業の大切さを市民に知ってほしい。農業を営む人に手厚い補助をしてほしい。地産地消などの活動をみえる形にしてほしい。明石の子供たちが作った作物が出来れば、人気が出るかもしれない。明石の自然をもっと掘り下げて紹介してほしい。
- 農業の世界はもともと住んでいた地元の人たちだけで回っていて閉鎖的なイメージがある。新しい人が入りやすい環境作りが重要になるのではないかと思います。
- 明石に住んで30年以上経ちますが、年々、農地が住宅に転用され、ため池は埋められ、美しい風景がどんどん失われるのを寂しく思っています。20年ほど前には、農業をされている方個人でお野菜の無人販売をされている場所もいくつかあったのに、高齢になられたのか、お金も入れず持って行く人がいたせいか、近隣には全く無くなってしまいました。お野菜も果物も、しっかり熟するまで育てた地場産のを食べる方が絶対に美味しい。なのでいつも、できる限り近隣のもの(神戸市西区産、稲美産など)を購入しています。明石でも色んな野菜が収穫されているはずなのに、一体どこに行けば購入できるのか。無人販売で、旬のものを安く購入出来、食卓で季節を感じる楽しみが、いまはもう経験できません。農業の担い手が減っていることも、

たくさんの方が明石に引っ越して宅地が必要なこともわかるのですが、農業の担い手さんにも引っ越してきてもらって、今ある風景を残してほしい。そして、明石の野菜がどこで手に入るのかをもっと教えてほしい。金ヶ崎のキャベツはどうしたら買えますか。明石市の広報誌、子育ても大事だと思うけど、安全で美味しい食卓のためにも、農業分野とか漁業分野のことももっと取り扱ってほしい。田んぼやため池は、大雨のとき一時的に貯水できる大切な場所です。ゲリラ豪雨で排水が追いつかなる事態が今後ますます増えると思われるのに、そういった災害を少しでも遅らせることができる場所を潰すのはいかなるものかと思います。住宅地は、住む人のいなくなった空き家などを放置させないように対策するなどして、農地を転用するにしても宅地以外(災害時に役立つ拠点となりうる公園等)にしてほしい。”

- 農地活用と障害者雇用を上手く連携出来ればいいなあと。農業で人手が欲しいときにお手伝いなど、
- 農業機械のレンタル
- 明石産のお米や、野菜は、あまり、無農薬、有機栽培というのは見たことないです。JAで野菜はよく買いますが、とても綺麗な葉っぱです。農薬とかの基準は大丈夫なのかなあ？と、思いながら購入し、食べる前には水できれいに洗い流しています。

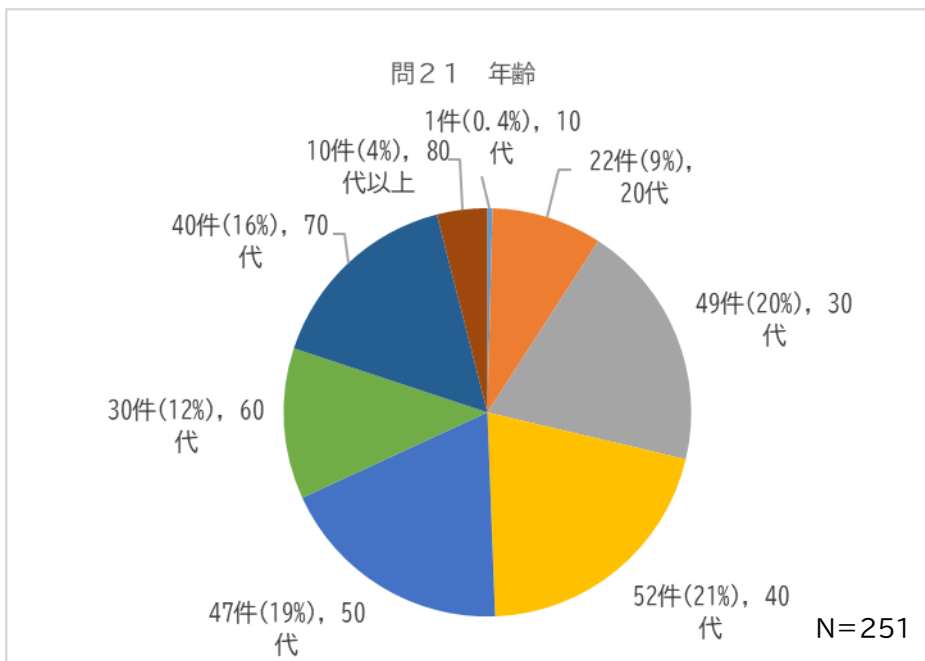
■あなたご自身についてお聞きします

Q20 性別

	項目	件数	%
1	男性	124	49%
2	女性	122	49%
3	その他	5	2%
4	回答しない	0	0%

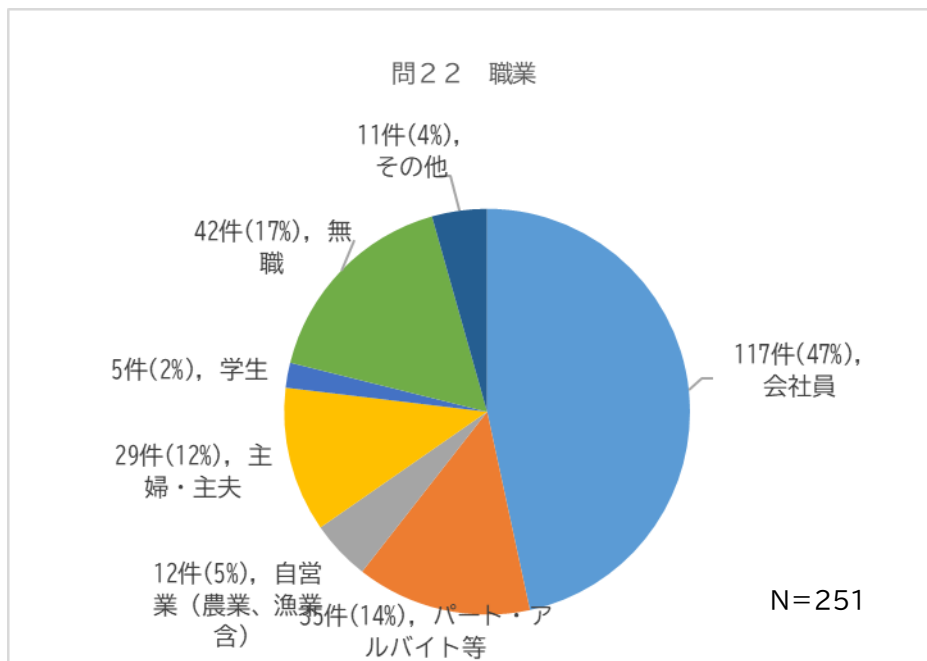
Q21 年齢

	項目	件数	%
1	10代	1	0.4%
2	20代	22	9%
3	30代	49	20%
4	40代	52	21%
5	50代	47	19%
6	60代	30	12%
7	70代	40	16%
8	80代以上	10	4%



Q22 職業

	項目	件数	%
1	会社員	117	47%
2	パート・アルバイト等	35	14%
3	自営業（農業、漁業含）	12	5%
4	主婦・主夫	29	12%
5	学生	5	2%
6	無職	42	17%
7	その他	11	4%



Q23 家族構成

	項目	件数	%
1	一人暮らし（単身世帯）	59	24%
2	夫婦のみの世帯	68	27%
3	親と子どもの2世代家族	97	39%
4	祖父母と親と子どもの3世代家族	8	3%
5	その他の家族構成	19	8%

Q24 明石市居住歴（明石市に住んでいる年数）

	項目	件数	%
1	3年未満	31	12%
2	3年～10年未満	33	13%
3	10年～20年未満	41	16%
4	20年以上	145	58%
99	無回答	1	0.4%

Q25 お住いの中学校区（正確な校区が分からなければ、一番近くの中学校を選んでください）

	項目	件数	%
1	錦城中学校	6	2%
2	朝霧中学校	21	8%
3	大蔵中学校	14	6%
4	衣川中学校	18	7%
5	野々池中学校	28	11%
6	望海中学校	26	10%
7	大久保中学校	30	12%
8	大久保北中学校	11	4%
9	高丘中学校	10	4%
10	江井島中学校	13	5%
11	魚住中学校	30	12%
12	魚住東中学校	15	6%
13	二見中学校	28	11%
99	無回答	1	0.4%

